

令和7年度事業報告

本会・支部・部会は、法人会活動の主眼である税の啓発活動、企業経営に役立つ研修会等の開催に積極的に取り組むとともに、地域社会への貢献活動を実施した。

また、会員増強運動及び福利厚生制度の推進については、令和6年度の反省点を踏まえ、組織基盤・財政基盤の強化に努めた。

さらに、運営体制の充実を図るための取組みとして、法令に従い、令和7年5月の定時総会において、外部理事1名及び外部監事1名の就任を承認し、理事は35名・監事は4名の体制となった。

1. 公益目的事業の積極的な開催

公益目的事業として、次の活動を積極的に開催した。

- (1) 税に関する啓発活動は、次代を担う児童・生徒を対象にした「ザ・タックスフェスタ2025」をはじめ、青年部会が講師となって実施する「租税教室」、女性部会が主催する「税の絵はがきコンクール」及び支部が地域イベントに併せて行う「税金クイズ」などを数多く実施し、一般市民に対して税知識の普及並びに納税意識の高揚につながる活動を展開した。
- (2) 地域社会への貢献を目的とする事業は、市内全域において地域の要請に応じて清掃活動等の各種事業を実施した。特に、祇園祭「七番神輿」は、宵祭・本祭の2日間で550名を超える担ぎ手が参加するなど、鹿児島島の夏の地域興しに貢献した。
- (3) 地域企業の発展を目的とする事業は、経営研修会・税務研修会・人材育成等に関する研修会等を複数回開催し、企業経営、会計実務及び社員教育の一助につながるよう企業の支援活動を実施した。

2. 組織運営及び財政基盤の強化

次の活動を通じ、法人会の組織基盤の強化及び財政基盤の強化に努めた。

- (1) 新規会員の加入拡大に当たっては、令和5年度の会員拡大強化策の反動を受け大幅に減少した令和6年度の反省点を踏まえ、本会役員が一体となり、「役員1人1社以上獲得運動」を展開し、133社の加入があったが、休業・廃業等による退会数が加入数を上回ることとなり、会員数は減少した。
- (2) 福利厚生制度については、法人会福利厚生制度受託保険会社と連携して、「チャレンジ100」の一環でキャンペーンを活用した紹介運動を展開し、新規企業数・新規契約数の拡大に努めた。
- (3) 会員支援活動として、法人会広報誌をはじめ、税制改正のポイント、年末調整実務のポイント及び会社の決算・申告の実務等や地方公共団体のリーフレットを全会員に配付することで、法人会活動の周知、税知識の普及や行政施策の定着に努めるとともに、法人会に対する帰属意識が高められるような取組みを実施した。